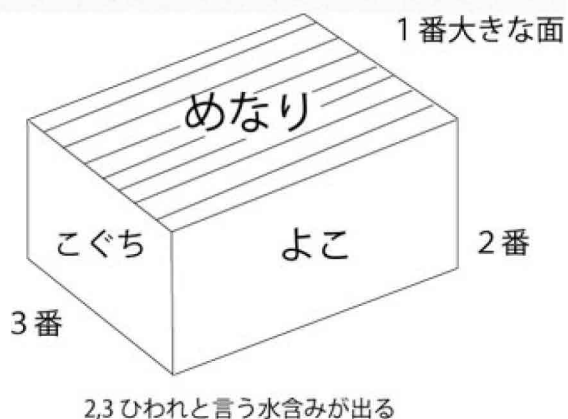


# 稲井石の特徴と注意点

稲井石は図のように石の目が入る石材で、磨くことでとても綺麗な模様になります。



しかし、その石の目は割るのが難しく、加工にくい石でもあります。  
よく、取引会社さんから「ヨコの天然はないの？」と質問される事があります。

稲井石のヨコは「※ノミ切り加工」という独特の加工を施します。

## 「ノミ切り加工」

「ノミ切り」は稲井石独特の加工技術です。  
切断した側面にノミで縞模様が出るように削ります。  
記念碑などの側面にはノミ切りの石で納品されます。  
※ノミを立てて使用すると石目にノミ先の打撃が入り割れてしまうおそれがある。



ノミ切り加工をする理由、ヨコの天然が出来ない理由はこちらの写真をご覧ください。



原石を採掘した石でも、割れ方・割れる方向がバラバラで石の目の通りに割れないという特徴があります。

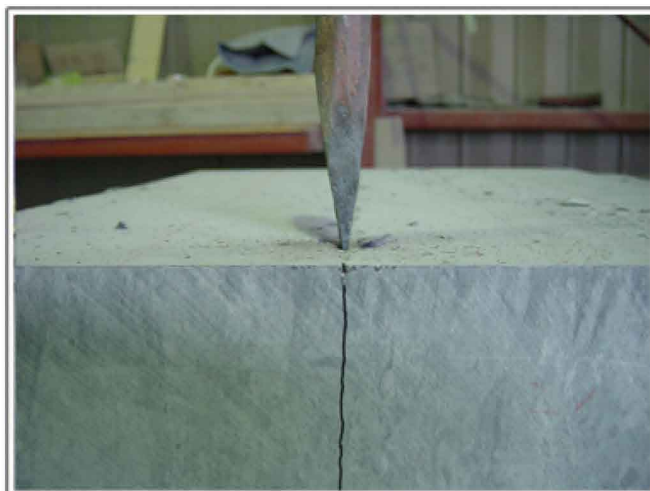
こぐちも同様です。



この写真の様にドリルで細かく割っていかねければ、割り箸を折った様になってしまいます。

このような石の特徴から稲井石は「ノミ切り加工」という技術でヨコやこぐちを美しく見せる・・・という手法を用いてきました。  
“天然のままで納品をお願いしたい”というご要望になかなかお応えできない理由はこんな石の特徴によるものです。

## サイズに合わせた石割の手法



石の割れ目にそって楔を打って割っていきます。  
“こぐち”から割り始め、“よこ”にも楔を打って割れ目を誘導していく手法です。  
割れ目を誘導しても全てがいうことをきく訳ではないのでそれが難しいところ  
です。  
※割れ方が思わぬ方向にいくとその石が使い物にならなくなってしまうため、  
ご依頼には時間的余裕が必要です。

## ”ヒワレ”のご紹介



水成岩の稲井石は熱に弱く表面が薄く割れるような症状が起きます。  
ヒワレという”こぐち”と”よこ”に出やすい現象です。  
強度に影響するものではありませんが、石によって現象が出やすいもの、出難いものもあります。  
早ければ製作途中で出てくる場合もあります。  
石を切断する時点でヒワレがない事を確認していますが、製作製作途中で出てくる場合もあります。  
この症状も含めて稲井石なので利用されたい方はご了承ください。





切断した時点ではなかったヒワレが少し時間経ち出てきた事例です。  
**ヒワレは必ずと言っていい程出てきます。**  
切断した時点で確認しますが、それでも時間経つにつれてヒワレが起きてきます。  
ある程度のヒワレはあるものと思って、了承頂くようになります。

## ”錆”のご紹介



石の中に含まれる鉄の成分が錆となって表れた事例です。  
この症状がでてきたら確認できる範囲で取り除くようにしております。